忘れられない高校生活を、猪苗代で——。

宿泊施設として男女別に2つのスキーリゾートホテルを準備しました。
フロントには従業員の方が常駐しており、送迎を利用すれば学校まで10分という立地です。どちらも猪苗代スキー場に隣接しており、磐梯山を背にしながら眼下に猪苗代町の田園風景と猪苗代湖を眺めることができます。
学習や生活の状況によっては、レストランや、冬場にはスキー場でのアルバイトも可能です。猪苗代での留学生活をより充実させることができます。週末や長期休暇中には家族を呼んで、思う存分スノースポーツ等を楽しんでください。
学校生活と上手に両立ができればナイタースキーだって楽しめるかも。
（※平日はリフト代が無料です！）

嬉しいポイント Point

- スキーリゾートホテルでの生活
- ホテル内の温泉施設が利用可能（一部のお部屋にはユニットバスもございます）
- 食事は土日も含め、3食ご用意！（平日のお昼はお弁当、季節によってバイキング料理も！）
- 朝と夕方の送迎あり！
- レストラン、スキー場でのアルバイト可

猪苗代観光ホテル　男子専用

ヴィライナワシロ　女子専用

入試までのスケジュール（見込）

11月	12月	1月	2月	3月
申し込み →	面接	結果通知		入試

詳しい日程については下記、電話番号からお問い合わせください。

生活費の目安と補助制度について

生活費は住居費、食費（1日3食）、光熱費、送迎費、すべて込みで、月額**65,000円**になります。宿泊施設から学校までは、朝夕の送迎があり、平日のお昼はお弁当をご用意いたします。

※生活費や送迎にかかる総額が165,000円/月になりますが、入試前の選考（書類審査・面接等）を経て、猪苗代町から100,000円/月の補助をいただくことができます。

（株）DMCaizu様のご支援により
入学初年度生活費
実質0円
（毎年度入学生適用予定）
詳しくはお問い合わせください

唯一無二の経験と課題解決力で総合型選抜を乗り越える

Problem solving ability

自ら設定した探究課題についての情報収集、分析、考察を通し、大学・短期大学等における総合型選抜で必要とされる資質・能力を身につけることができます。
『猪苗代学』を通して、地域内外のさまざまな人々と出会い、豊富な課外活動を経験することで、論理的思考力と表現力が身につきます。
学力も大切ですが、猪苗代学で身に付く「課題解決力」は受験だけでなく、その先の人生に役立つ重要な武器です。猪苗代高等学校では、生徒ひとりひとりの挑戦を応援し、サポートします。

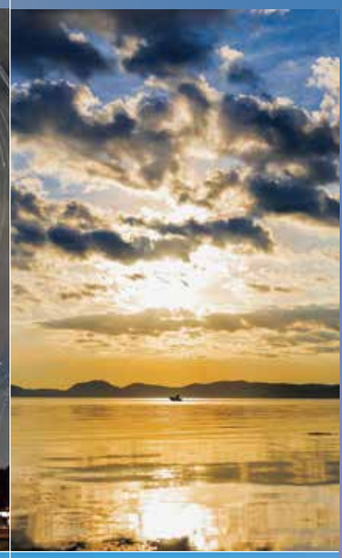
福島県立猪苗代高等学校
〒969-3111 福島県耶麻郡猪苗代町字窪南3664番地
学校について　TEL.0242-62-3125　FAX.0242-63-0650
補助金について　TEL.0242-62-5677　猪苗代町教育委員会（教育総務課）

公式 note や公式 X でも『猪苗代学』について発信しています！ぜひご覧ください　Check!

公式 HP　公式 note　公式 X

すぐそこにある、いなわしろ。

INAWASHIROGAKU GUIDE BOOK



まち全体が
学びのフィールド。
「やってみたい」が
カタチになる学校。

福島県立猪苗代高等学校

福島県立猪苗代高等学校

小さな学校、無限の可能性。
みんなで育む、君の成長物語。

校舎の目の前には雄大な会津磐梯山（あいづばんだいさん）。
校舎の4階から南を眺めれば猪苗代湖（いなわしろこ）ものぞめます。
福島県立猪苗代高等学校は各学年1クラス、
全校生徒を合わせても50数名と、とても小さな学校です。

小さな学校ではありますが、だからこそできることは無限大。
生徒の「やってみたい、学んでみたい」の
思いに応えることができる環境がここにはあります。

Where You Grow.

猪苗代町ってどんなところ？

オールシーズンリゾート
「猪苗代町」

All season resort

冬は会津磐梯山でのスノースポーツ、夏は猪苗代湖での湖水浴と充実したレジャー体験を年間を通して味わえるだけではなく、豊富な観光資源が何よりもの魅力！
猪苗代高等学校では冬に授業でスノースポーツを体験することができます。

福島県の中心地、郡山市からは車で約40分。首都圏からも2時間と少し。高速道路を利用し「猪苗代磐梯高原インターチェンジ」で降りれば、猪苗代町に到着！
関東圏からはもちろん、東北地方や新潟県、その他の地域からのアクセスの良さも大きな魅力の一つです。

猪苗代学

実践的な地域探究活動を通じて、
社会で必要とされるスキルと
主体性・協働性を育む。

Inawashiro Studies

『猪苗代学』とは、猪苗代町とその周辺地域とを学びのフィールドとした探究学習の通称です。さまざまな体験活動や地域の方々との対話を通し、猪苗代の課題を見つけます。その課題解決に向けて、地域の方々と協働し、解決していく実践的な学習です。地域愛、協働する力、より良い社会を築く課題解決力が身についていきます。

個々で課題設定

「問い」から課題を見つけることを大切にしています。自分自身で見つけた課題に取り組むことに意義があります。

地域との協働

自治体に加え、地域のさまざまな方に特別非常勤講師としてご協力いただいています。地域との協働的な活動が盛りだくさん！

豊富な教育資源

「ひと」をはじめとした教育資源が豊富な猪苗代町。防災・農業・観光などが学べるのも猪苗代町ならではです。

猪苗代学のカリキュラム

1年生　地域の人々と対話しながら「防災」「農業」「観光」を学ぶ。

まずは猪苗代周辺地域を「知る」こと。
防災、農業、観光をテーマとしてさまざまな体験活動に取り組みます。
そこで出会った地域の人々との対話を重要視しており、
体験や対話を通して生まれた「問い」から課題を設定します。
地域を通して、自分自身を「知る」ことが最終目標です。

防災

活火山でもある磐梯山を有する猪苗代町。磐梯青少年交流の家、福島自衛隊会津若松出張所などの協力のもと、防災・減災について学びます。

農業

町内の農家の皆さんを講師として、トマト・花・酪農・落花生・野菜等のグループに分かれて年間5回の農業体験を行います。

観光

猪苗代町は言わずと知れた「観光」のまち。猪苗代町と周辺地域でのフィールドワークを実施します。毎年、約20カ所以上の観光施設が協力してくれています。

2年生 3年生　自身で見つけた課題の解決に挑戦。地域で挑み、未来を創る。

2・3年生では、生徒個人またはグループで設定した課題の解決に向けて地域の人々と協働して活動します。
マイナスを0にするという課題解決だけではなく、
1から10を生み出す活動に取り組む生徒も出てきています。

特定外来生物ウチダザリガニから生まれた「ザリ塩」

田んぼの厄介者の特定外来生物「ウチダザリガニ」の捕獲、調査を行い、利活用の方法を模索。このプロジェクトから誕生した「ザリ塩」はテレビ取材を受け、放送されました。

地域の強みを高校生がPR 課題が「自分ゴト化」する探究活動

そばを打つところからスタートした「猪苗代蕎麦PR班」の生徒たち。その活動は『激突メシあがれ』（【NHK総合】R7.6.11放送）にて取り上げられました。

会津伝統野菜や新たな農業の発展を目指して

さまざまな用法を用いた、複数名の農業の専門家を講師として招き、年間を通した作物づくりを実践。自分たちで畑を開墾して栽培した作物や、地域ならではの作物を活用したメニュー開発に取り組んでいます。

活動、プロジェクトの成果を発表！

探究学習・猪苗代学の成果披露の場として、本校を会場とて開催する『学びの収穫祭』と、猪苗代町体験交流館「学びいな」での『学習発表会』が実施されます。
このような場で、来場者に向け、成果報告のプレゼンテーションを行います。猪苗代高等学校では、生徒の成長のため、多様なアウトプットの場を設定しています。

Results presentation

News Topics

福島民報社主催
「第10回ふくしま産業賞(2024年度)」学生部門「銀賞」を受賞！

ウチダザリガニの活用に関する取り組みが、各メディアに大きく取り上げられました。

『猪苗代学』の成果報告を聞いた 保護者・地域の人の声

Voice

保護者
入学から時間をかけ、学んだことを自分の中に吸収し、それを発信していく…学ぶこと、伝えることの大切さを改めて感じることのできる素晴らしい発表でした。

保護者
しっかりとした発表、受け答えに感動しました。泣きながら見ました。生徒が真剣に取り組む行動が、心を、周りを動かしていることがよくわかりました。生徒たちは探究学習を通して、机の上の勉強だけでは得られないものをたくさん得ています。まさしく社会に出てから役立つ学習です。

団体職員
毎年生徒の発表がグレードアップしています。生徒一人一人が何かを自分ごととして考えているところが「猪苗代学」ならではであり、素晴らしい。